

2012年度 第2回 環境災害対応委員会 議事録

日時：2012年10月1日 13:00～14:30

場所：東京大学理学部1号館8階843室

出席者：松本（委員長）・石原・石峯・宇根・小田・大塚・大野・加藤・小荒井・近藤・
須貝（書記）・中村尚・西村・真木・宮越（計15名）

議事：

0. 新委員会名簿配布、自己紹介

1. 出席学協会の活動報告（2012年5月の連合大会以降：詳細は欠席学会とともに別途報告予定）

- ・気象学会（中村・石原）気象災害委員会：2011年12,13号台風の被害研究、2012年竜巻の調査報告会開催
- ・電磁気学会（小田）EPSの特集号を編集中
- ・火山学会（石峯）浅間山と火山防災のシンポジウムを御代田で開催
- ・大気化学研究会（加藤）連合大会で茨城大 北和之と共同でセッションを開催
- ・地図学会（宇根）連合大会でセッションを共同提案予定
- ・地理学会（須貝）春と秋の大会で理事会と災害対応委員会が災害シンポジウムを開催
- ・雪氷学会（西村）2012年豪雪で130名死亡。豪雪が最近続いており、高齢化・過疎化による被害拡大の懸念
- ・地熱学会（宮越）市民向けに地熱開発と温泉との共生に関してタウンフォーラムを開催予定
- ・リモセン学会（近藤）震災関係の画像の特集号を刊行
- ・水・水学会（真木）震災対応委員会として：原発対応土壌調査・津波調査（地下水学会との共同）・ため池の崩壊調査を実施（近藤が補足）
- ・応用地質（大塚）災害対応特別委員会斜面災害中心に対応、成果報告（大野）地盤工学会と共同で、震災廃棄物の有効利用に関する取りまとめ作業実施中
- ・地質学会（環境地質部会：小荒井）社会地質学会と共同で液状化現象に関わるシンポジウムを開催。地質災害調査委員会（応用地質部会：横山・欠）

2. 2013年連合大会セッション提案

- ・人間環境と災害リスク（日本地理学会主催、地図学会・第四紀学会・地質学会・GIS学会・火山学会・活断層学会・環境災害対応委員会共催、代表コンビーナ：金沢大 青木賢人）
- ・極端気象と都市水害（環境災害対応委員会主催・気象学会・水文水資源学会・日本地理学会共催、代表コンビーナ：首都大 松本淳氏、共同コンビーナ：防災科研 真木雅之、気象研 小司禎教）

- ・東日本大震災関係

放射能汚染関係：新学術（筑波大 恩田裕一代表）中心にシンポを開催してはどうか（中村）→ 松本委員長から恩田代表に打診（環境災害対応委員会共催）＜その後に北和之代表コンビーナとして提案する方向に決定＞

震災関係のセッション（三重大 春山成子）の提案があるとの情報 → 松本委員長から環境災害対応委員会共催の方向で調整＜その後に本件は誤情報であることが判明したので特に提案はしないこととした＞

- ・メキシコの Vicente Jesus Ricardo Santiago-Fandino から津波関係でのセッション応募の希望がメールで事務局にあり、松本委員長が個人的に共同コンビーナとして協力して提案の予定

3. その他

中・長期的活動について

- ・海洋学会に参加を促す
- ・医学系や工学系との連携をはかるべきではないか？